

いつまでも住み慣れた地域で暮らし続けるために

町の高齢化率(65歳以上の人口が占める割合)が平成27年11月、30%を超えました。

少子高齢社会が進み、軽度な生活支援が必要な高齢者が年々増えています。

そこで地域の実情に見合ったご当地サービスの取り組み(介護予防・日常生活支援総合事業)が各市町村ごとに始められています。

町では、平成26年7月より介護度の軽い人や一人世帯・高齢者世帯を対象にした有償ボランティア(以下、生活支援サポーター)による買い物代行サービスを始めました。現在までに8人の利用者が、週1回、安否確認と交流を兼ねて利用しています。

平成29年度からは、通称『かんら支え愛隊』として、買い物代行以外に軽度な家事(※下表参照)を支援内容に増やします。実施主体は町ですが、社会福祉協議会とシルバー人材センターに事業を委託します。

今年1月にはサービスを担うボランティアの育成として、ボランティア団体や地区関係者、希望者を対象とした「生活支援サポーター養成講座」を町総合福祉センターで開催しました。参加した68人は、清掃業者からトイレや台所の掃除のコツを伝授していただいたり、訪問介護事業者から「訪問の心構え」について、貴重なお話を聞くことができました。

参加者からは「多くの人の善意と優しさで事業がうまく機能することを願う」との意見が聞かれました。

● 利用希望やサービスなどの詳しい問合せは、健康課介護保険係・地域包括支援センターまでお願いします。

● 生活支援サポーター、通称『かんら支え愛隊』を募集しています。問合せは、町社会福祉協議会(☎74・5700)までお願いします。

平成29年4月から増えた『かんら支え愛隊』の支援内容

対象者	支援内容	利用回数	費用負担
①1人暮らし世帯 ②高齢者のみの世帯 (①②は要介護認定者も含む)	・衣類の洗濯、補修 ・住居内などの掃除、整理整頓 ・その他町が認めた家事	原則週1回	1時間200円
③要支援1・2	生活必需品の買い物	週1回	1回100円
④事業対象者 ※原則65歳以上	ゴミ出し	週1回	月200円

～ 生活支援サポーター養成講座 ～



訪問の注意点を熱心に聞く参加者



トイレ掃除のコツを学ぶ参加者

「買い物代行サービスを受けている利用者さんとサポーターさんにお話を伺いました」

利用者

田中千代さん(上野)

発足当初から利用しています。自転車に乗ることができなくなり、買い物に行けなくなつて困っていました。とても助かっています。

自分で買い物をする余裕に購入してしまふこともありましたが、そのようなこともなく、何よ

り、いろいろな話をしてくれるので嬉しい。一人でいたらつまらないので…。

買い物は広告を見たり、空き袋を提示してお願いしています。4月以降は簡単な掃除もお願いしたいと思っています。

生活支援サポーター

上田玉代さん(善慶寺)

20数年間、仲間に支えられながら「読み聞かせの会」のボランティア活動を続けています。自分が日常的に行っている買い物であれば

かかりつけ医を持ちましょう

お医者さんにかかるときの心掛けしだい、医療費は節約できます。

かかりつけ医を持ち

安心して受診しましょう

- 病気や薬についてわかりやすく丁寧に説明してもらえます。
- 必要に応じて適切な専門医を紹介してもらえます。

● 自宅から近い医療機関を選びましょう。子どもがいる場合は小児科があると安心です。

上手なお医者さんのかかり方

● かかりつけ医を決め、まずはかかりつけ医で受診しましょう。

● 同じ病気で複数の病院にかかることは控えましょう。

● 時間外・休日受診は緊急時のみにしましょう。

医療費の増加は

保険税の引き上げへ

私たちが医療費の一部を支払うだけで医療機関にかかれるのは、

→ 田中さん(右)と上田さん



自分の空き時間にお手伝いできると思い登録しました。

不安や戸惑いもありましたが、マニュアルどおりに回数を重ねていくうちに、一週間が早く過ぎるようになりました。今ではお手伝いできるのが楽しみになってきました。

生活支援の必要な人たちにとっては、日常の何気ない会話が必要だと思ひ、毎回いろいろな話をしています。自分で行けるうちは時間を調整してお手伝いしていきたいと思ひます。

皆さんが納めている国民健康保険税などがその一部を補っているからです。

医療費は年々増加傾向にあり、このまま増え続けると、保険税が引き上げられることになります。

使ってみませんか

ジェネリック医薬品

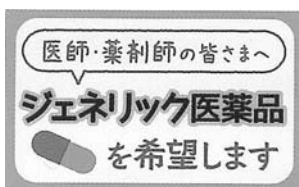
ジェネリック医薬品の品質・有効性・安全性は、新薬とほぼ同等であると認められています。

また新薬に比べて安価に作るこ

健康課国保係 内線253

とができるため、薬代の負担も軽くなります。薬剤師と相談しながら一緒に選び、ジェネリック医薬品を使ってみましょう。

ジェネリック医薬品を希望する場合は、『ジェネリック医薬品希望シール』を保険証やお薬手帳などの余白部分に貼ってお使いください。



役場窓口にあります

公共下水道供用開始区域が、 (下水道の使用できる区域) 4月1日から 34.57 ヘクタール広がりました

公共下水道供用開始区域

◇大字白倉の一部	11.66 ヘクタール
◇大字金井の一部	0.91 ヘクタール
◇大字小幡(3区)※一部除く	22.00 ヘクタール



供用開始区域を告示

公共下水道が使用できる区域が新たに追加されました。

区域内のご家庭では、排水設備を設置することにより、トイレや台所などの汚水を直接公共下水道に流すことができるようになります。

下水道への接続工事を

公共下水道が完成し、処理区域になると、くみ取り式トイレの場合3年以内に水洗トイレに改造し、公共下水道に接続することが下水道法に定められています。



また現在、浄化槽を使用されているご家庭も浄化槽を廃止し、すみやかに公共下水道に直結していただくこととなります。

工事は排水設備指定工事店で



指定工事店は町内37社、町外71社が登録しています。
見積り合わせなどで比較して選定しましょう。

排水設備工事をするときは、必ず「指定工事店」へお申し込みください。

「指定工事店」以外の業者が工事することは規則により禁じられています。

※「指定工事店」とは、工事が適正に行われるよう町が指定し指導を行っている業者です。

お住まいの地域
が供用開始区域になった皆さんは、お早めに
公共下水道に接続
しましょう！



甘楽町安全安心メール

町の火災防災・防犯・行政情報をいち早く受信できます。

平成24年11月25日から配信を開始し、現在1,957人が登録しています。
登録方法は右のQRコードに空メールをお送りください。詳細は町ホームページ、町民カレンダーをご覧ください。



QRコード

